令和６年度　学校運営評価結果　概要

学校の自己改革と教育の質の向上を目指して、毎年学校運営評価を行い、学校運営の改善に努めております。

１　評価方法

（１）各評価項目について、今年度の取組を振り返りながら評価尺度（４：十分に満たしている、３：満たしている、２：改善の余地がある、１：改善が必要）に基づいて教職員の自己評価を行った。

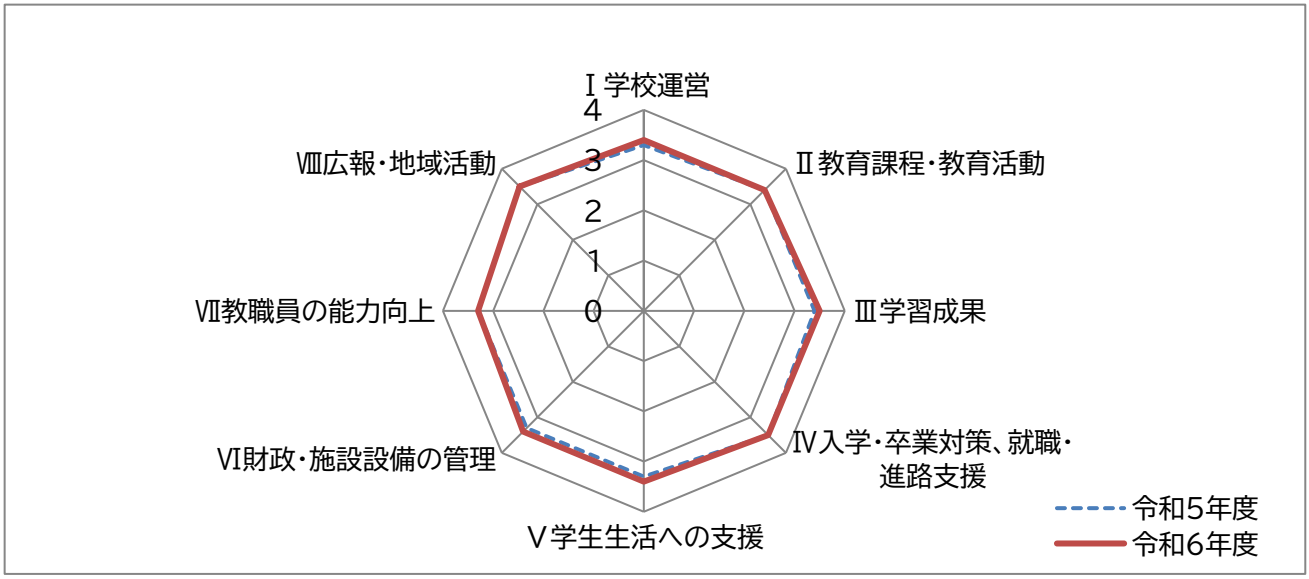
（２）学生に直接関係する項目については、学生にアンケートで意見を聞いた。

（３）教職員の自己評価、学生のアンケート結果を学校関係者評価委員に報告し、意見を伺った。

（４）意見をもとに最終評定と次年度に向けた取組を明確にした。

２　評価結果

区分	主な評価項目	評価
Ⅰ学校運営	組織目標の策定、コンプライアンスを重視した学校運営、組織チーム力など	3.4
Ⅱ教育課程・教育活動	体系的なカリキュラム運営、評価の公平性・妥当性、実習時の安全体制など	3.4
Ⅲ学習成果	学生の単位取得支援、国家試験への取り組み、退学率の低減など	3.5
Ⅳ入学・卒業対策、就職・進路支援	入学応募者確保、就職・進路支援、卒業生への支援	3.5
Ⅴ学生生活への支援	学業継続支援体制、学生の自主的活動支援、学生の意見を反映した学校運営	3.4
Ⅵ　財政、施設設備の管理	適正な予算の執行、危機管理体制、安心・安全な施設設備など	3.4
Ⅶ 教職員の能力向上	教員の看護教育力向上、能力向上に対する支援	3.3
Ⅷ 広報・地域活動	積極的な広報活動、地域社会への貢献	3.5



３　学校関係者評価委員会での主な御意見

〇学校運営について

・学生が望んでいる学校運営が何であるか一歩踏み込んで情報収集をできるとよいと思う。

〇入学・卒業対策、就職・進路支援について

・就職・進路支援の取り組みに対する学生のアンケート結果が「そう思う」が低いのが気がかりだが対策を立てているので問題はないかと思う。

〇学生生活への支援

・「学生の自主的な活動を支援しているか」という問いに対し、学生の主な意見として「実際に何をすればいいのか、どこまでしていいのか分からなかった」と書かれていたのが印象に残った。自分たちで考えて実行しやり遂げたことで自己肯定感や存在意義など様々なプラスの効果が期待できる経験ができるよう支援してほしい。

４　次年度に向けた主な取組

〇学校運営について

・学生の特徴に応じて、マナーやルールを含めた生活指導を行い、学習習慣形成へのサポートを強化する。

・現状の課題分析に基づいて組織目標を策定し、全教職員で共有し定期的に確認していく。

〇教育課程・教育活動について

・新カリキュラム評価を実施し、より効果的な教育内容や方法の改善につなげる。

〇学習成果について

・学生の状況に応じた効果的な学習支援を継続する。

・各学年担当の定期面接、健康相談員の面接を継続する。

・各科目の学習と合わせて国家試験の学習への効果的な支援に取り組む。

〇入学・卒業対策、就職・進路支援

・入学応募者確保については、高校生、社会人向けの効果的な広報を継続する。

・学生が就職・進路支援に求める内容を把握し、早期に就職活動ができるよう支援する。

・卒業生支援については、クラウド型学習支援システムを活用した呼びかけを行うなど相談体制の充実を図る。

〇学生生活への支援について

・学生が主体的に活動できるよう相談担当と教務が連携して支援する。

〇財政、施設設備の管理について

・効果的な危機管理体制の整備と運営を継続する。

〇教職員の能力向上

・教員の教育力向上に向けた自己研鑽の支援を継続する。

〇広報・地域活動

・幅広い視点でのＰＲを継続し、学校祭及び公開講座等を通して様々な方法で地域に発信していく。